

眼形成・眼窩・涙道外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	涙嚢窩に関する解剖研究
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 羽生田 正行
担当科等	眼形成・眼窩・涙道外科
研究責任者	准教授 高橋靖弘
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	涙嚢窩は涙道の一部である涙嚢が収まる骨の窪みであり、涙道が閉塞した際に、バイパスを作成する部分です。従って、涙嚢窩の詳細な解剖を知ることによって、より確実な手術を行うことが出来ます。本研究では、CT画像を用いて、日本人における涙嚢窩の解剖を調べます。
対象となる患者さん	2017年2月から2018年11月までに眼窩吹き抜け骨折の精査・治療目的で、当科を受診された患者さん。
研究の方法	健側のCT画像を用いて、涙嚢窩の厚み、骨の接合部の位置、及び形状を測定します。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2020年7月31日
研究に用いる試料・情報	情報：年齢、性別、画像所見
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし、情報が個人を識別できる場合のみ対応可能です。
その他	なし
問い合わせ先	愛知医科大学 眼形成・眼窩・涙道外科 担当者：准教授 高橋靖弘 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 12314)